

ヒグマとの事故をなくすには

農林課(林業振興係)

☎52 2178

今年も山菜採りやハイキングなどで野山に出掛ける季節となりました。

自然との触れ合いは楽しいものですが、一方で北海道のほぼ全域にはヒグマが生息しており、平成13年の春には、ヒグマによる3名の死亡事故が相次いで発生するなど、春はヒグマによる事故や遭遇が増える季節です。

近郊の野山に入る場合であっても、ヒグマによる事故に遭うことのないよう、特に注意しましょう。

ヒグマはそこにいます

冬眠明けのヒグマにとって、食料の乏しいこの時期の山菜は貴重な食料となります。山菜を求めて歩きまわるヒグマと出会わないよう、野山に入る場合は次のことに注意してください。

(1)野山に入る前に
まず、地元の市町村役場や森林管理署などで、事前

にヒグマの出没情報を確認してください。

ヒグマの出没情報がある地域や、ヒグマの出没を知らせる注意看板がある場所へは絶対に立ち入らないようにしましょう。

(2)ヒグマに出会わない工夫を
ヒグマは、山菜を求めて思わぬところに出没します。野山での単独行動は、人とヒグマの双方で気付くのが遅れ、危険な状況になる場合がありますので、集団での行動を心掛けましょう。

また、鈴を携行したり、見通しの悪い場所では大きな声を出すなど、人の存在を早めにヒグマに知らせる工夫をしましょう。

ヒグマが人に気付きにくい薄暗い早朝や夕方、濃霧時や降雨時は特に注意が必要です。ほとんどのヒグマは、人の存在に気が付けば、自ら遭遇を避けると言われています。

(3)子グマに遭遇したら
近くに母グマがいますので、絶対に子グマを保護しようとしてはいけません。速やかにその場から離れて

ください。

(4)野山での飲食は

匂いの強い食べ物はヒグマを引き寄せる場合がありますので控えましょう。また、残飯や空き缶などのゴミは必ず持ち帰りましょう。

生ゴミの味と匂いを覚えたヒグマは、これらの魅力的な食べ物を得ようとして、危険な行動をとるようになることが知られています。

(5)エゾシカなどの死体を見つけたら
ヒグマは、エゾシカの死体を食べることもあり、近くにヒグマがいる可能性があります。近寄らずにその場を離れてください。

野山でヒグマに遭遇したり、足跡などの痕跡を見つけた場合は、農林課までご連絡ください。

町の人事

— 4月15日付 —

行政調整室

行政調整係・主任 辻澤均(建設水道課土木管理係兼建築係・主任)

公民館分館・体育施設管理人の常駐時間を変更します

行財政改革の推進に伴い、公民館分館と体育施設の管理人の常駐時間を下記のとおり変更いたします。開館時間や休館日などに変更はありませんので、各施設とも従来どおりご利用いただけます。

施設利用申請書の提出期限

施設を使用される日の2日前まで
(緊急かつ特別な場合は除く)

施設利用申請書の常設場所と提出先
利用される施設または教育委員会

その他

管理人の常駐時間以外の利用の際は、利用される時間帯に合わせて管理人が勤務します。

管理人の常駐時間を変更される施設

施設名	休館日	開館時間	管理人の常駐時間	電話番号
落合地区多目的センター	毎週月曜日	8:30～21:00	8:30～12:00 13:00～15:30	53-2062
金山地区コミュニティセンター	毎週金曜日	8:30～21:00		54-2366
下金山地区多目的センター	毎週木曜日	8:30～21:00		55-2133
かなやま湖スポーツ研修センター	毎週火曜日	9:00～21:00	9:30～12:00 13:00～16:30	52-2346
空知川スポーツリンクス	毎週火曜日	9:00～21:00	9:00～12:00 13:00～17:00	53-2449

管理人は正午から午後1時まで休憩時間となります。

問い合わせ先

教育委員会 生涯学習係

☎52-2211